

令和3年度 新見市立草間台小学校学校経営計画書

○本校のミッション（使命、存在意義）

カルスト台地の自然・環境・産業・人材を積極的に活用した教育を実践し、「ふるさとを愛し、夢や希望に向かってたくましく歩む子どもの育成」が使命である。そのために、社会に開かれた教育課程を編成し、地域から学び、地域に生かしていくことが重要である。また、児童が夢や希望に向かって歩むためには、楽しく充実した学校生活が基盤である。その中で、児童の自己肯定感を高め、社会に貢献したいという思いを育成していく。

○内外の環境分析

本校は、四季折々の表情を見せる山々とカルスト地形の美しい景観に囲まれ、ピオーネや桃・蕎麦などの多くの特産物にも恵まれており、落ち着いた環境下にある。また、地域の人々が大変情に厚く協力的で、種々の自然体験や農業体験などを通してふるさとを学ぶことができる。
一方、少子高齢化にともなう児童数減少により複式校となっている。GIGAスクール構想や複式・小規模校の良さを十分生かした教育の実現が望まれる。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

| 【目指す姿】 | 【本校のビジョン】 |
|--|--------------------------------------|
| <p>たのしい学校 がんばる学校</p> <p>コミュニティ・スクールを 生かす学校</p> | <p>児童の夢と希望を支え 保護者や地域に信頼される学校</p> |

○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

○CS（コミュニティ・スクール）目標

「ふるさとへの愛着と感謝の思いを育てる」

～ふるさとを愛し、夢や希望に向かってたくましく歩む子どもの育成～

○学校教育目標

「夢や希望をもち、自ら学び、考え、たくましく歩む子の育成」

○学校経営目標

- ・ふるさとへの誇りと愛着心を育てる ←自然の営みや地域の人々の温かさを感じさせる。
- ・たくましく歩む児童を育てる ←目標達成に向け成功体験（失敗）を繰り返させる。
- ・カリキュラムマネジメントを確立する ←社会に開かれた効果的な教育課程を実践する。

○指導計画・重点

(1) 《知育》基礎的・基本的な内容の確実な定着と活用力の向上を図る。

- ・授業づくり…「分かった、できた」「もっと勉強したい」と児童が実感できるUD化された授業。
- ・ICT活用…ICT機器を有効に活用した個別最適化された学習。
- ・家庭学習…授業とのつながりを大切にした宿題内容と家庭との協働。
- ・基礎基本…徹底反復学習による基礎学力の向上。

(2) 《徳育》豊かな人間性を養う。

- ・体験、交流活動…CSを生かした活動による豊かな心と社会性の育成。
- ・道徳教育…心の教育の基盤としての道徳性の養成。
- ・読書活動…豊かな想像力・思考力・表現力等の育成。

(3) 《体育》自らの目標をもって、心身の健康や体力づくりに取り組む実践的態度を育てる。

- ・体力づくり…目標をたてて、進んで体力づくりに挑戦し、続けて努力する態度の育成。
- ・健康づくり…進んで自身の心と体の健康づくりに努めようとする態度の育成。
- ・基本的な生活習慣…家庭連携による、メディアコントロール、食習慣等についての意識の向上。

(4) 子どもとしっかり向き合い、組織で機能する教職員集団を目指す。

- ・特別支援教育…学習環境、授業、人的環境のUD化、インクルーシブ教育の推進。
- ・業務の効率化…働き方改革による子どもとしっかり向き合う時間の確保。
- ・チーム草間台小…組織で機能する学校の実現。

(5) 草間台小学校の「コミュニティ・スクール」を充実させる。

- ・ふるさとへの愛着と感謝の思いを育てる…地域との交流活動や体験活動の実施。
- ・将来の新見市を担う子どもを育成する…社会総がかりによる教育の実現。